



# くめじま

2012(平成24)年4月号 発行／久米島町役場 編集／久米島町役場総務課 TEL.098-985-7121  
 「広報くめじま」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.town.kumejima.okinawa.jp/>

No.121

# 4

月号  
2012



表紙：平成14年生まれの子ども達

## Content

久米島町は10歳になりました！	P2
「離島住民カード」への変更是お済みですか？	P3
平成24年度 久米島町施政方針	P4-5
消防だより	P6
バーデハウスだより	P7
町の話題	P8-9

福祉課からのお知らせ	P10-13
公立久米島病院だより	P14-15
後期高齢者医療保険料率改定について	P16
町民カレンダー	P17
雪国の生活を体験！「なかさと交流会」	P18

## 人口の推移

平成24年2月末現在

<b>男</b>	<b>4,525人</b>
<b>女</b>	<b>4,089人</b>
<b>計</b>	<b>8,614人</b>
<b>世帯</b>	<b>3,925世帯</b>

# 久米島町町制施行10周年!



## 町制施行10周年を迎えて

久米島町長 平良 朝幸

平成14年4月1日に旧具志川村と仲里村が合併して新生久米島町が誕生してから、早いもので満10年になりました。10周年を迎えるにあたり、今日までの歩みを振り返ってみると、三位一体の改革などによる厳しい財政状況の下において、国・県や町民各位のご協力により、町道、農道や久米島野球場、バーデハウス久米島、島の学校あじまー館、家畜市場、リサイクルセンター、最終処分場、久米島西中学校校舎等の整備を行うことができました。また、地域活性化対策として、プロ野球楽天のキヤンブ誘致、ラムサール条約湿地への登録、アレルギー対応観光商品の販売、海洋深層水温度差発電などに取組み一定の成果をあげることができました。しかしながら離島を取り巻く社会経済状況は大変厳しく、少子高齢化、人口減少が続いています。このような状況下において、久米島町の将来像「豊麗のしま久米島」を実現するには、若い人の働く場の確保が最優先になるものと考えています。今後とも新生久米島町の建設に向けて職員一同全力で取り組んでまいります。終わりに、これまで町政の執行にご協力を頂いた関係各位にお礼申し上げると共に今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## “ぼくのゆめ♪わたしのゆめ♪”



# 「離島住民カード」への変更はお済みですか？

ご利用中の「沖縄県離島航空割引運賃カード（離島カード）」は、平成24年4月1日から『沖縄県離島住民割引運賃カード（離島住民カード）』に変更になり、「船運賃」も割引の対象になりました。「離島住民カード」作成は、仲里庁舎 町民課、具志川庁舎 総合窓口で行っています。



(旧)離島カード

\*有効期限:5月31日

(航空運賃のみ適用)

(新)離島住民カード

\*4月1日~

## ●航空運賃(久米ー那覇)【還付は「離島住民カード」を作成した方に限ります】

	運賃種別	片道運賃	還付金額
大人	離島割引	4,900	無し
	①身体障がい者	7,550	3,050
小児	②離島割引	4,900	1,400
	③小児普通運賃	5,700	2,400

3歳以上のお子様も、  
カードの作成が必要です!!



※①～③の運賃で購入した場合、還付が受けられます！※申請は「産業振興課（仲里庁舎）」で！

### 【還付金の申請方法】

①～③で購入した方で  
『離島住民カード』をお持ちの方

還付(通帳振込)



#### ※申請時の提出書類

- ①搭乗券等、飛行機に乗った  
事を証明できる書類
- ②通帳の写し

申請

久米島町役場  
産業振興課

## ●船運賃(久米島ー那覇)【離島住民カード提示後の運賃です】

	運賃種別	運賃
大人 (久米島発~那覇)	離島住民往復	3,600
	離島住民障がい者(片道)①	1,060
小児 (久米島発~那覇)	離島住民往復	1,800
	離島住民障がい者(片道)①	530
離島出身学生等(高校生含む)往復(那覇発~久米島) ※「離島住民カード」所有者に限ります		3,600

\*①は本人及び同伴者1名  
(離島住民カード所有者  
に限る)までを対象とし  
ます。



# 平成24年度施政方針

(はじめに)

平成24年3月議会の開会にあたり、町政運営に対する私の所信を申し上げます。我が国の経済は長引く円高による輸出企業の収益減、企業の海外移転による産業の空洞化など、非常に厳しい状況が続いております。このような状況で昨年3月11日に発生した東日本大震災は日本の歴史上、未曾有と言わざる大災害となり、経済再建をますます困難なものとしています。

経済の先行きが不透明な中であります。久米島町は、少子高齢化、人口減少など過疎化に歯止めがかかる、その対策としての産業の創出や雇用の確保など大きな課題を抱えています。これらの課題を克服するため、堅実な経済対策を実施しながら大所高所かつ中長期スパンでの産業戦略立案と実行が求められています。

まず、各分野の方針説明前に、特定プロジェクトについてご説明申し上げます。平成18年度の久米島町新エネルギービジョン及び平成22年度の深層水複合利用基本調査で検討をしてきました。沖縄県が事業主体となり実証実験を行います。町においても、発電後の深層水冷熱を利用した野菜栽培研究施設を設置することともに、産学官一体となつた研究拠点づくりに取り組んでまいります。また、平成22年度から久米島商工会と連携しながら計画を進めてきました。コムニティEFM局についても、国から放送予備免許が交付されました。開局後は行政的・防災情報発信など、FM局の利活用を積極的に推進してまいります。

次に、これまでの内閣府沖縄担当部局において一括計上された国庫支出金が統合され、新たに沖縄振興特別調整交付金(一括交付金)が創設されました。当該交付金を活用して、久米島町第一次総合計画及び沖縄21世紀ビジョンで掲げた将来像実現に向けて取り組んでまいります。

平成25年度から平成29年度にかけて、合併特例の交付税算定替えが行われ、交付額が現在の額より約6億8千万円減少します。これに対応するため、第2次集中改革プランを策定し、同プランに基づき行財政改革を推進します。重点実施事項として、

次の事項に取り組んでまいります。

- ① 税、手数料、財産収入等の歳入の確保
- ② 職員定数の見直し
- ③ 事務事業の民営化、指定管理者制度への移行、事務事業の業務委託推進
- ④ 公共施設の統廃合や事務事業の見直し

畜産については、昨年は口蹄疫問題で厳しい対応をせまられたが、その後は肉牛のセリ価格も上昇傾向にあります。しかし畜産農家にとっては、まだ生産資材の高騰などで大変厳しい状況には変わりがありません。

畜産については、初期投資のかからぬ畜地野菜を中心として生産拡大を推進してまいります。

1. 行財政改革の推進

平成25年度から平成29年度にかけて、合併特例の交付税算定替えが行われ、交付額が現在の額より約6億8千万円減少します。これに対応するため、第2次集中改革プランを策定し、同プランに基づき行財政改革を推進します。重点実施事項として、

今後とも関係者が連携を取りながら久米島ブランド牛として定着が図られるよう尚一層、品質改善向上の取組みを行ってまいります。特殊病害虫防除対策については、現在、島県が防除を実施しているアリモドキゾウムシ、イモゾウムシについては、引き続き、防除事業を実施してまいります。アリモドキゾウムシについては、本年度に国の確認作業により根絶宣言がなされる見込みであります。が、根絶確認作業を計画通り実施していくためには、島外からの寄生植物の持ち込みによる再発防止対策が必要であり、元住民のご協力が大変重要であります。町民への啓蒙活動を推し進めながら、国、県と歩調を併せて事業推進を図つてまいります。農業を取り巻く環境協定(TPP)交渉参加問題、農業従事者の高齢化と扱い手不足の問題、さらには農業資材等の高騰により依然として経営が圧迫されています。

現状を開拓するためには、積極的な担い手育成対策を進めいくとともに、関係機関と協力して厳しく環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加問題、農業従事者の高齢化と扱い手不足の問題、さらには農業資材等の高騰により依然として経営が圧迫されています。

さとうきびについては、4月・5月の成長期に低温や日照不足に加え例年にない早い時期での相次ぐ台風の襲来により、大幅に減収が見込まれる中で、中期製糖を迎えており大変厳しい状況にあります。さとうきび生産農家の高齢化と扱い手不足についても大変深刻な問題であります。また、地力低下による減収も大きな課題となっていますので、収穫体制や堆肥センターの活用を図りながら反収増加による生産拡大を図つてまいります。

野菜花卉・果樹栽培については、土地条件を生かしながら生産拡大を推し進め引き続き栽培技術の向上による安定的な所得の向上を図り、扱い手農家の育成、後継者の育成等に努めています。特に野菜生産対策については、初期投資のかからぬ畜地野菜を中心として生産拡大を推進してまいります。

## (2) 農業の振興

(1) 農業の振興

本町の基幹産業である農業は、引き続き、主要産業として位置づけし、積極的に振興を図つてまいります。農業を取り巻く環境は依然として厳しく、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加問題、農業従事者の高齢化と扱い手不足の問題、さらには農業資材等の高騰により依然として経営が圧迫されています。

現状を開拓するためには、積極的な担い手育成対策を進めいくとともに、関係機関と協力して厳しく環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加問題、農業従事者の高齢化と扱い手不足の問題、さらには農業資材等の高騰により依然として経営が圧迫されています。

さとうきびについては、4月・5月の成長期に低温や日照不足に加え例年にない早い時期での相次ぐ台風の襲来により、大幅に減収が見込まれる中で、中期製糖を迎えており大変厳しい状況にあります。さとうきび生産農家の高齢化と扱い手不足についても大変深刻な問題であります。また、地力低下による減収も大きな課題となっていますので、収穫体制や堆肥センターの活用を図りながら反収増加による生産拡大を図つてまいります。

野菜花卉・果樹栽培については、土地条件を生かしながら生産拡大を推し進め引き続き栽培技術の向上による安定的な所得の向上を図り、扱い手農家の育成、後継者の育成等に努めています。特に野菜生産対策については、初期投資のかからぬ畜地野菜を中心として生産拡大を推進してまいります。

(2) 漁業の振興

漁業は、農業と共に島の基幹産業であり、引き続き、漁業後継者の育成や所得向上に積極的な振興を図つてまいります。これまでペヤオ浮魚漁業を中心とした漁業の推進を図つておりますが、長期的な漁場を確保し、マグロなどの水産物が安定した水揚げできるように中層浮漁礁設置事業を引き続き計画的に事業を実施してまいります。

(3) 商工業の振興

漁業は、農業と共に島の基幹産業であり、引き続き、漁業後継者の育成や所得向上に積極的な振興を図つてまいります。これまでペヤオ浮魚漁業を中心とした漁業の推進を図つておりますが、長期的な漁場を確保し、マグロなどの水産物が安定した水揚げできるように中層浮漁礁設置事業を、引き続き計画的に事業を実施してまいります。

(4) 観光産業の振興

観光の低迷は他の産業や久米島経済に大きな影響を及ぼしており、このような状況を開拓するため、観光誘客プロモーション施策の展開や受け入れ態勢の強化などを、島の魅力ある観光資源を充分に活かし、観光協会との連携を図りながら対策強化を図つてまいります。

島の学校やバーチャルハウス久米島体験プログラムなどの利用促進、食物アレルギー対応や高齢者対応旅行などの目的型観光の推進を図つてまいります。

(5) 交通の確保

航空路と海上航路は住民のライフラインであり、運賃低減については引き続き、県と連携しながら実施してまいります。また、大量輸送手段の一つである高速船についても導入検討委員会を発足し、関係機関と協議を行なうながら早期の導入に向けて取り組んでまいります。

(3) 商工業の振興

日本全体が大変な不況化にあり、久米島においてもその対策が最重要課題となっています。物価が安く、高級品が売れないと、物販の状態は久米島の商工業にも大きな打撃を与えています。その現状打開

3. 教育・文化行政の充実、人材育成の推進

平成24年度からスタートする沖縄県の学力向上主要施策「夢・にふるあ星・プラン」を踏まえ、本町でも「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上に取り組んでまいります。

4. 福祉の充実

町民福祉の充実につきましては、保健医療福社サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

のため、久米島商工会と連携し資金や雇用面などの改善策として、国や県のセーフティネットなど、支援制度の活用を推進してまいります。

また、農商工連携による新たな特産品開発や販路開拓にも重点的に取り組んでまいります。さらに本町の有望な地域資源である海洋深層水関連の事業拡充を図つとともに、伝統織物芸品の久米島紬も、全国的な海運業者による根絶宣言がなされる見込みであります。が、根絶確認作業を計画通り実施していくためには、島外からの寄生植物の持ち込みによる再発防止対策が必要であり、元住民のご協力が大変重要であります。町民への啓蒙活動を推し進めながら、国、県と歩調を併せて事業推進を図つてまいります。合併してから、島外への販売を図つてまいります。

社会教育においては、ヤングフェスティバルや新書道展、各種講座や体験活動事務等を通じて、地域の事業を継続してまいります。また、交流事業として、なかよし交換事業、海外ホールステイを継続実施するほか、佐賀市との中学生交流事業を新にスタートさせる計画です。文化振興につきましては、久米島古典民謡大会の開催のほか、久米島民俗芸能保存会の活動も支援してまいります。

老朽化した給食センターの改築についても、用地選定等具体的な作業に取り組んでまいります。また、給食食材の地産地消についても島内の生産法人等と連携しながら取り組んでまいります。

博物館及び文化財行政については、博物館活性化事業、久米島紬公開活用事業、跡等埋蔵文化財公開活用事業、具志川城跡整備事業、文化遺産保存活用事業を実施し、本町の貴重な文化遺産の保存を図ることも、観光振興・地域活性化への活用を図つてまいります。また、歌碑建立事業を実施し、昔を語る琉歌の保存伝承を図つてまいります。

久米島高等学校園芸科の廃科問題については、「久米島高校課題検討委員会」を発足しており、本会では現状の課題を抽出し、その解決に向けた支援を継続してまいります。また、人材育成の観点から「久米島高校の存続・発展を考える会」と連携しながら、久米島高等学校全体の発展に向けて取り組んでまいります。

母子保健及び児童福祉につきましては、

従来の児童生徒に対する各種予防接種を継続実施してまいります。

加え、昨年度同様に乳幼児を対象とした「ヒ

ブワクチン」・「小児肺炎球菌」、中学1年生

から高校1年生の女子を対象とした「子宮

頸ガン予防ワクチン」の接種に対する助成

による巡回相談等を実施し、妊娠婦・乳幼児の健康管理や発達障害児の支援に努めています。

また、妊婦から乳幼児までの各種教室や健診の実施、乳児の訪問指導、整肢療護園

不妊治療にかかる費用及び沖縄本島への渡航費の助成も含め「妊娠・出産助成金」と改め、若者の経済的負担の軽減を図り、少子化対策を行ってまいります。

保育行政につきましては、益々多様化、複雑化していく保育ニーズに迅速かつ的確に対応していくため、公立保育所1箇所、私立保育園3箇所で対応してまいります。

健康づくりについては、妊婦健診・乳幼児健診・学校健診・特定健診・長寿健診等を充実させ、各機関と連携の上、受診率の向上に努めてまいります。また、健診結果に基づいた健康づくり事業を、一体的に取り組んでいくこと、特に生涯にわたる健康管理システムの構築事業では、小学5年生から高校生までの健診結果から教育へと発展させ未来を担う子供たちが自ら健康を守ることができるよう関係機関と連携し対策に取り組んでまいります。さらに、久米島町国民健康保険の赤字の一因ともなっています生活習慣病の予防改善のために運動実践指導者、栄養士、保健師、看護師等の専門家が一丸となり保健指導に力を入れてまいります。

公立久米島病院につきましては、町民が安全安心で、医療の確保・プロ野球キャンプ誘致等、町民の健康増進が重要と考え、特定健診の受診率向上に努め適切な保険税徴収率の低下等により厳しい財政状況が続いている。医療費の増加を抑制するためには、町民の健康増進が重要と考えます。

国民健康保険事業は、医療費の増加や保健指導と重症化予防のために早期の外来受診を奨励してまいります。保険税の徴収率の向上を図るには、積極的に滞納処分等を取り組み公正公平な保険財政の健全化に努めてまいります。

ります。

国民年金事業は、日本年金機構と連携して、保険料の納付が困難な町民に対しては納付猶予や申請免除の勧奨を行つと共に、

10月1日から3年間施行される年金確保支援法に基づき納付可能期間が10年間

に延長された保険料の納付によつて受給権を得られる方への制度周知をはかつて

高齢者福祉につきましては、配食サービ

ス事業やふれあいコール事業を活用し、一

人暮らし高齢者や高齢者世帯の安否確認をおこない、高齢者の安心安全の確保に努めてまいります。また、高齢者に対する

権利擁護事業を推進し、安心して地域で暮

らせる体制を作ります。認知症施策を重点

課題として、本人とその家族を支える仕組み作りを行い、地域資源の活用を図つてい

きます。さらに、認知症予防としても生

活習慣病の重症化予防に努めてまいります。

介護保険事業につきましては、第5期介護保険事業計画が本年度よりスタートします。第5期事業計画における特徴としては、地域密着型サービスにおけるグループホーム通所型介護(3名)とショートステイの増床(5床)を計画に掲げてございます。

介護保険事業につきましては、第5期介護保険事業計画が本年度よりスタートしま

す。第5期事業計画における特徴としま

しては、地域密着型サービスにおけるグル

ープホーム通所型介護(3名)とショート

ステイの増床(5床)を計画に掲げてござ

ります。

更に、第4期事業計画で策定した小規模

養老施設及び小規模多機能施設の整備も

整い、5月1日開設に向け準備を進めているところです。

これからも介護保険受給者及び受給額

の増加が予想されることから介護保険事

業の果たす役割が年々高まり、介護保険料

の支拂の促進に向けて取り組んでまいり

ます。

5. 環境保全と地域美化

豊かな自然環境の中で、快適で潤いのある気分満ちた生活を営むことは町民みんなのことであります。そのための住まいの環境づくりは、行政に課せられた重要な責務であります。

一般廃棄物処理について、現代社会は大

量生産、大量消費、大量廃棄という浪費型

の生活様式になり排出されるゴミの量も年々増大しております。これからも廃棄物の減量化や適正処理及びゴミの不法投棄の監視等に努めてまいります。

赤土等流出防止対策についても、監視体

制、指導の強化を引き続き行います。地域

美化については、公共施設及び町道や公園、観光地等の環境美化作業を強化します。また、緑化推進につきましても久米島に自生している花や花木等を保護増殖し、島の在

人暮らし高齢者や高齢者世帯の安否確認を

をおこない、高齢者の安心安全の確保に努めてまいります。また、高齢者に対する

権利擁護事業を推進し、安心して地域で暮らせる体制を作ります。認知症施策を重点

課題として、本人とその家族を支える仕組み作りを行い、地域資源の活用を図つてい

きます。さらに、認知症予防としまして生

活習慣病の重症化予防に努めてまいります。

6. 基盤整備

住環境・産業振興の基盤となる県道整備

への支援及び町道整備、農道整備について

全力を傾注して取り組んでまいります。

本町の町道整備については、一定の整備

率に達してはいるものの未だに未整備な

道路が残されており、継続事業の工事促進

ながら景観条例を策定してまいります。

下水道事業は、字真謝地内の整備を実施

し、委託においては、字錢田地域の実施設

計、長寿命化事業の詳細設計を実施します。

事業(錢田地区・カンジン郡第3期地区)の工

事進捗の促進に向けて取り組んでまいり

ます。また、耕土流出防止及び環境保全を

安定確保を目的とした県営かんがい排水

事業(字江城地区)の工事促進に向けても強力に支援してまいります。

7. 消防・防災行政

強化を図るために取り組みがなされています。本町の消防としましては、今後も

これまで懸案であった大原地域における通

学路の安全確保及び観光施設へのアクセスを目的とした大原下線の工事に着手します。また、老朽化や塩害損傷により荷重

支持機能が著しく低下していく通行の安

全上これまで約1年以上通行止めをしていました(鉢田橋の改修に向けての調査設計を開始致します)。

水道事業については生活する上で欠かせないライフラインであり、安全な水を安全に供給するためにも、20年以上を経過している各施設の機器については計画的な整備を行つてまいります。

下水道事業は、字真謝地内の整備を実施し、委託においては、字錢田地域の実施設計、長寿命化事業の詳細設計を実施します。

字儀間・嘉手苅地域についても事業実施に向け更認可の手続きをしてまいります。

また、接続率向上に向けた取り組み及び未収金の徴収についても取り組みを強化します。

下水道事業は、字真謝地内の整備を実施し、委託においては、字錢田地域の実施設計、長寿命化事業の詳細設計を実施します。

字儀間・嘉手苅地域についても事業実施に向け更認可の手続きをしてまいります。

また、接続率向上に向けた取り組み及び未

収金の徴収についても取り組みを強化します。

水道事業については生活する上で欠かせないライフラインであり、安全な水を安全に供給するためにも、20年以上を経過している各施設の機器については計画的な整備を行つてまいります。

一般会計	7,361,185千円
国民健康保険特別会計	1,305,101千円
後期高齢者医療特別会計	73,799千円
下水道事業特別会計	2,460千円
水道事業会計	379,263千円
合 計	9,415,808千円

団活動を強化します。又各区自主防災会で助け合う機能を充実させるため、自主防災会用資機材及び災害応急対策に必要な防災備蓄用品を順次整備します。これに伴い機材及び備蓄用品の取り扱い方法を徹底させ、「自分たちのまちは自分たちで守る」という区民主導の自主防災組織の育成強化に取り組み、災害に強い島づくりの一層の推進に役立ててまいります。

よって、平成24年度予算案の総額は、次のとおりであります。

このとおりであります。

以上、平成24年度の町政運営にあたり、私の所信や予算案などについて述べてまいります。

私は、日本は政治も経済も大変混迷を深めています。今、日本は経済も大変混迷を深めています。数年先見え見えない不安ばかりが先立つ大変な時期を迎えております。

その中で、小さな島が生き抜くためには皆様と一緒に知恵を出し合い、協力しながら行う協働のまちづくりが求められます。

これからも子どもたちが明るく元気で、若者が将来に夢を持って、老年寄りが安心して暮らせるまちづくりに一生懸命取り組ん

でまいりますので、町民の皆様と議員各位のご理解、ご協力をお願いして私の施政方針といたします。

平成24年3月7日



# 消防だより

久米島消防  
☎985-3281

※全国統一  
防火標語

## 『消したはず 決めつけないで もう一度』

～平成24年 春季火災予防運動を実施～

この運動は、『火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐこと』を目的として、平成24年3月1日（木）～3月7日（水）の間、全国一斉に行われました。期間中、一日消防長に委嘱された久米島紹観光レディー上原礼奈さんが、久米島空港ターミナルビル株式会社の防火対象物査察を実施し火災予防を呼びかけました。



## ～消防水利付近での違法駐車は絶対にやめよう!!～

町民の皆さん、「消火栓」及び「防火水槽」をご存じですか。

消火栓及び防火水槽とは、火災が発生したときに、消防隊が消火活動を行うために使用する「消防水利」のことです。

一般的に、道路脇や歩道上に埋められている四角や丸い鉄の蓋がその目印となっていますが、この付近での駐車は法律で禁止されています。

消防隊は、住民の生命、身体、財産を火災から守るために、日頃から厳しい訓練を重ねていることはもちろんですが、町内の地形や建物の状況等の調査も行っています。

特に、消火栓や防火水槽など消火活動に欠かすことのできない消防水利については、定期的に調査、点検を行い、いつどこで火災が発生しても直ちに対応できる体制をとっています。

しかし、どんなに消防自動車が現場に早く到着しても、消火栓の蓋の上に車が停めてあったために、放水が遅れてしまったケースや、狭い道路上に駐車車両があつたために、消防自動車が火災現場に接近できなかったケースなど、消防活動を行う上で違法駐車は様々な障害となっています。

火災は、いつあなたに襲いかかってくるかわかりません。

火災から皆様自身の命や財産を守るためにも、消火栓や防火水槽付近での違法駐車は絶対やめましょう。

### 2月出動状況

( )内は平成24年累計

・救急	23件	( 48件)
・火災	0件	( 0件)
・救助	0件	( 0件)
・風水害	0件	( 0件)
・捜索	0件	( 0件)
・その他	1件	( 2件)
合計	24件	( 50件)

## 町体協職域バドミントン大会開催

2月21日(火)、23日(木)職域バドミントン大会(町体協主催)が開催されました。



優勝:久米島高校Aチーム  
準優勝:ハピヒルでえーびる  
3位:漁協エビファイターズ



# バーデハウスだより

昨年11月14日より、「介護予防教室」をバーデハウスで実施し、多くの町民の皆様にご利用頂きました。

初めて水着を着た方も多く、スタート当初は緊張した様子でしたが、回数を重ねる毎に皆さん顔に笑顔が溢れ、県外からのお客様と楽しくゆんたくする姿も見られました。

また、プール利用後はトリートメントスタッフによる、ハンドマッサージも開催し、「バーデに来る日が待ち遠しい」「プールに入ると心身共に楽になる」など、嬉しいお声も頂きました。

3月16日をもって今期は終了となりましたが、これからもスタッフ一同、心よりお待ちしております。



☆「水圧マッサージ、気持ちいい～さあ～」



☆マイナスイオン浴で「はい、チーズ！」



☆水中ウォーキング



☆お散歩中



☆ハンドマッサージで心もリフレッシュ

## 【実施期間】

1期 平成23年11月14日～12月2日

2期 平成24年1月16日～2月3日

3期 平成24年2月27日～3月16日

【利用延人数】650名



バーデハウス久米島  
TEL 098-985-8600

## 平成24年度 狂犬病予防(集合)注射のお知らせ

平成24年度の狂犬病予防集合注射を、下記の日程で実施致しますので愛犬を飼っている方は、お近くの会場で予防接種を受けさせて下さい。

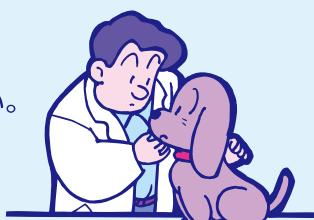
### 予防注射を受ける対象

- ① 生後90日以上の犬であること
- ② 今年まだ、予防注射を受けてない犬であること

### ★日程

実施日	場所	受付時間
5月12日(土)	ふれあい公園	10:00～16:00
5月13日(日)	仲里庁舎玄関前	10:00～16:00

※予防注射のお知らせ通知が送られてきた方は、必ず通知を持参して下さい。



### ★狂犬病予防注射料金

登録済みの犬	3,000円(注射料金)
新規登録をする犬	6,000円(登録料3,000円+注射料金)
鑑札再交付をする犬	1,600円(鑑札代)

飼い犬が死亡したり、住所が変わった場合は、町役場 環境保全課までご連絡下さい。

お問い合わせ先 久米島町役場 環境保全課(仲里庁舎) 連絡先 985-7126

## 久米島選抜・準優勝!

平成24年3月3日(土)～4日(日)、宜野湾市民広場で開催された「第20回ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会(さよなら大会)」において、久米島選抜チームが見事、準優勝に輝きました。

### 決 勝

準優勝  
久米島選抜  
1-3  
 大山ファミリー



## 真喜志菓子店 合格まんじゅう寄贈

島内中学校の卒業式にあわせ、3月9日、真喜志康順夫妻(真喜志菓子店)が教育委員会に来庁され、3中学校の受験生が高校でも頑張れるようにと合格まんじゅうの寄贈(全校生徒・教職員分)がありました。地域の方の子ども達への激励・支援、感謝申し上げます。



## 還暦の先輩たちから 島の子どもたちへ寄贈

還暦(昭和26年生)を迎える先輩たちから1月27日(金)に「島の子どもたちのために使ってください」と町教育委員会へ1000冊のがんばりノートの寄付がありました。地域の方の子ども達への激励・支援、感謝申し上げます。



## クメジマボタル再生の功績が讃えられ ～久米島ホタルの会～

2月29日(水)「ダイキンオーキッドレディースゴルフトーナメント」で、沖縄県の芸術・文化・スポーツ・教育等の振興を目的として活動している個人・団体の支援を目的に行われている「オーキッドバウンティ」で、地域の自然再生に尽くし、クメジマボタルを再生させた功績が評価され久米島ホタルの会が贈呈を受けました。



## 泊高等学校久米島協力校卒業!



泊高等学校久米島協力校から藤田涼夏さん、富村麻香さんの2名が卒業しました。コツコツと地道に努力を重ね、また、家族に支えられこの日を迎えました。社会に出ても自分を大事に一歩、一歩進んで行って下さい。

## 復興へ希望の光を! ～東北支援チャリティーコンサート～

3月11日(日)、「～3.11あの日を忘れない～ 東北大震災チャリティーコンサート」が開催され、約200名の町民が会場のイーフ情報プラザを訪れました。同コンサートの収益金は全額、町とおして東北へ寄附されました。



## 「お願いします」を伝えます!

3月1日(水)NTT西日本沖縄支店 森 泰憲法人営業部長より、「電話お願い手帳」が平良町長へ贈呈されました。

これは同社が昭和58年から毎年、耳の日に地域への貢献を目的に、耳や言葉の不自由な方に替わり「お願いします」を伝える同手帳を県内各地に贈呈しているもので、平良町長は「有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。



## 「桃の花」でひとあし早い春を!

沖縄とは違う趣きの「春」を楽しんでもらおうと、3月2日(金)日本トランスポーション航空(社長 佐藤 学)照屋正久米島店長より岡山県県花「桃の花」が清水幼稚園へ贈呈されました。

園児らは元気よく「ひなまつり」の歌で感謝の気持ちを伝えました。

## 久米島をグルッと一周! — シュガーライド久米島 —

3月3日(土)、4日(日)「第1回シュガーライド久米島」が開催され、ベテランから初心者、家族やチームで島内を3周(120km)するチャレンジコース等、島一周40km、最大標高差209mの変化に富んだ4コースに159名が参加しました。参加者はそれぞれのペースで景色を楽しみながら島を駆け抜けました。



「第1回シュガーライド久米島」ご参加・ご協力くださりありがとうございました。

# 日本脳炎ワクチン予防接種のお知らせ

久米島町では、予防接種後に重い病気になった事例があったことをきっかけに、平成17年から予防接種の積極的な勧奨を差し控えていました。新しいワクチンの開発がされ、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになりました。以下の方達が対象になります。



## ☆24年度の対象者

### \* 3歳、4歳、小学4年生

4・8月に集団接種を予定。これから通知します。

\*ご案内の対象となっていない場合でも、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれで、1期・2期の接種が終わっていないお子様は、20歳未満までの間、接種を受けることができます。

今回は集団接種の対象にはなりませんが、病院で個別接種が可能です。

接種の勧奨を控えていたために、予防接種を受けていないお子さんも多くいます。全ての対象者を今年だけで接種することは難しいため、ワクチンの流通量を勘案しながら、対象の枠を広げていきたいと考えています。

## 集団接種以外の対象の方で

### 日本脳炎ワクチン予防接種を希望する方は・・・

- ①久米島町役場福祉課（仲里庁舎）で予診票を受け取る。
- ②下記の希望する医療機関へ予約する。
- ③接種予約日に予診票と母子健康手帳、接種料金自己負担分（740円）を持参し、ワクチンを接種する。

## 《個別接種委託医療機関（町内）》

公立久米島病院	<b>985-5555</b>
仲里中央診療所	<b>985-8306</b>
球美の島診療所	<b>896-8036</b>



### 予防接種料金（1回につき）

自己負担 740円 町負担 7,093円

お問い合わせ：久米島町役場 福祉課 母子係 TEL：985-7124

# 20歳以上の学生さんにお知らせです!



## 国民年金保険料の学生納付特例制度について



### ◆ 学生納付特例制度 ◆

学生は本人に一定額以上の所得がなければ、保険料の支払いが猶予される学生納付特例制度があります。

学生の方で、納められないからといってそのままにしておくと、将来年金が受けられなくなる場合がありますので、そのような場合は学生納付特例を申請してください。

また、学生以外の20代の方には**若年者納付猶予制度**等があります。

学生納付特例の申請は1年度ごとの申請ですので、今年度承認を受けた方が、翌年度以降も特例を受けるためには、毎年4月以降に再度申請が必要です。学生納付特例が一度承認されると翌年度以降、在学期間中は毎年3月下旬にハガキ形式の学生納付特例申請書が日本年金機構より送付されてきますので、必要事項を記入のうえ返送してください。

初めて学生納付特例を申請される方、学校が変わられた方などは、久米島町福祉課（仲里庁舎）か総合窓口（具志川庁舎）で申請をしてください。

### ◆ 学生納付特例が承認されると ◆

- ・特例期間は、老齢基礎年金の受給資格期間（最低25年必要）に算入されます。
- ・特例期間は、障害基礎年金・遺族基礎年金の受給資格期間に算入されます。
- ・特例期間の保険料は、10年以内であればさかのぼって追納ができます。追納しない場合は、将来受け取る老齢基礎年金額には反映しません。  
例：平成23年4月分の保険料なら、平成33年4月までは支払が可能。
- ・特例をうけた年度から3年度目以降に保険料を追納する場合には、当時の保険料に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

申請手続きに必要なもの(ハガキ形式以外の方)

年金手帳・印鑑・学生証コピー（在学証明書）

くわしくは、お近くの年金事務所か久米島町福祉課まで

浦添年金事務所 国民年金課 098-877-0511

久米島町 福祉課 098-985-7124



## アリモドキゾウムシの根絶まであと少しです。 町民のみなさまの御協力をお願いします。



島外から（特にフェリー）の久米島町へのイモ・（紅イモ・ウンチュー）等の持込によって、アリモドキゾウムシが1匹でも確認されれば、また、ふりだしに戻ってしまいます。  
アリモドキゾウムシが根絶されるまで、町民皆様の御理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 久米島町産業振興課 TEL:985-7134

## 障害児福祉手当・特別障害者手当制度について

県では、精神又は身体の重度障害のため、常時特別の介護を必要とするなど、特別の負担を軽減する一助として、在宅の重度障害児(者)に対して、障害児福祉手当(特別障害者手当)を支給しております。以下、その制度について紹介いたします。

支給対象者	障害児福祉手当	精神又は身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において特別の介護を必要とする20歳未満の在宅の障害児で福祉保健所長の認定を受けた方。 なお、以下の場合は対象となりません。 (1)施設に入所(通所を除く)している場合。 (2)政令で定める公的年金を受給している場合。
支給対象者	障害児福祉手当	精神又は身体に著しい重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳以上の在宅の障害者で福祉保健所長の認定を受けた方。 なお、以下の場合は対象となりません。 (1)施設に入所(通所を除く)している場合。 (2)病院又は診療所に3ヶ月以上入院している場合。
支給制限		
手当額	障害児福祉手当	月額 14,280円 (平成24年4月から改正予定)
	特別障害者手当	月額 26,260円 (平成24年4月から改正予定)
支給	毎年2月、5月、8月、11月の4回に分けて、その前月までの3ヶ月分を、届け出た金融機関の口座に振り込みます。	
申請手続	認定請求書、所得状況届、所得証明書、戸籍謄本(抄本)、住民票謄本、認定診断書などの必要書類を添えて、お住まいの町村役場の障害福祉の窓口へ提出して下さい。なお、認定請求書などは町村役場の障害福祉課に備えてありますので、お問い合わせ下さい。 久米島町役場 福祉課 電話 985-7124 沖縄県南部福祉保健所地域福祉班 電話 889-6364	

## ～石油製品輸送等補助事業について～

沖縄県は、県内で消費される揮発油について「沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律」により、揮発油(ガソリン)に係る税金(国税:揮発油税及び地方揮発油税)が1リットルあたり7円軽減されています。

また、本措置を前提に、沖縄県において石油価格調査税(県税)として揮発油1リットルあたり1.5円の課税を行い、その収を実質的な財源として「石油製品輸送等補助」を行ってあります。

この「石油製品輸送等補助事業」では、沖縄本島地域と離島地域との間で石油製品価格に大幅な格差が生じないよう、沖縄本島から県内離島へ輸送される石油製品(揮発油・灯油・軽油・A重油)の輸送経費のほぼ全額を補助しております。

この補助制度により、県内離島地域での石油製品の販売においては、輸送経費がほぼかかっていないことになります。

○平成22年度補助経費金額……………約8億9,197万円

石油製品1リットルあたりの補助額……約6円(離島平均)

●お問い合わせは……………沖縄県企画部 地域・離島課離島振興班

TEL:098-866-2370

# 子ども健診を実施します！ \*

平成23年度に実施した「学校健診」ですが、平成24年度は名称を「子ども健診」に変更して実施します。

## ◆検査日

① 平成24年4月11日（水）

【清水小学校・仲里小学校・久米島西中学校・仲里中学校・久米島中学校】

② 平成24年4月13日（金）

【比屋定小学校・美崎小学校・久米島小学校・大岳小学校】

③ 平成24年5月25日（金）

【久米島高校】



## ◆対象学年

小学校5年生～6年生・中学校1年生～3年生・高校生1年生～3年生

## ◆注意事項

① 血液検査は事前の調査により保護者の同意が得られた生徒のみ実施します。

② 検査当日は朝食を食べずに登校させてください。

## ◆なぜ子ども健診を行うの？

糖尿病などの生活習慣病発症のリスクがある子を見つけるためです。

かかってしまうと精神的にも経済的にも負担になってしまいます。糖尿病などの生活習慣病は大人になってからの問題ではありません。子供のころから予防が大切なのです。

## 平成24年度 特定健診・長寿健診・がん検診

平成24年6月1日（金）～6月14日（木）

上記の日程で行います！受診券の発送は5月中旬を予定しています。

集団健診より前に島外の病院などで受診を希望される方は福祉課までご連絡下さい。

\* \* \* \* \* 連絡先 TEL:985-7124 \* \* \* \* \*

## あなたは大丈夫？－糖尿病の危険性

検査の結果

ヘモグロビンA1c(HbA1c)が5.2以上の方

糖尿病・糖尿病予備群です。

※糖尿病にかかってしまうと年間27万円の医療費がかかってしまうかも…



# 公立久米島病院だより



## 沖縄の長寿を取り戻そう！久米島から始めよう！

### ～「久米島子ども健康プロジェクト」の紹介～



公立久米島病院小児科 矢崎 幸

沖縄は長寿の県と言われていましたが最近はそうではなくなりました。その大きな原因是沖縄では肥満や糖尿病をはじめとする生活習慣病が急激に増え、動脈硬化による死亡率がとても増えていることです。

そしてこの大人の生活習慣の悪影響が子どもにも現れてきています。久米島で小学5年生から高校3年生までの子どもに大人の特定検診並みの健診を行ったところ、**2割**の子どもに**肥満や高血圧、高脂血症**などの異常があり、二次検診を行った肥満児童の約半分に**糖尿病予備群**の異常があることわかりました。

これは実施したからわかったことで、沖縄の他の地域でも同様の事が起こっている可能性は高いと考えられます。久米島は大自然に恵まれ、地産の魚や海藻、野菜なども沢山あります。おじいやおばあの昔の生活を見直して、外で遊んだり健康な食事をとったり、より良い身体作りのために何ができるかをみんなで考えてみましょう。

また、沖縄は「他県に先駆けて食の欧米化が進んだ県」ともいえ、数十年後には他県でも沖縄と同じような問題に直面する可能性が高いとも言われています。つまり、久米島のこのような取り組みが**日本の健康づくりのお手本**になるかもしれません！

子ども達と久米島の明るい未来のために、自分にできることから始めましょう！

#### 1、沖縄県民の健康

- ◆沖縄県は1980年代まで**平均寿命日本一**！ ⇒ 2005年に男性平均寿命26位！
- ◆65歳以下の死亡率 ⇒ 男女ともに全国ワースト1位
- ◆肥満度、糖尿病新規透析導入率 ⇒ 全国ワースト1位
- ◆30-50歳代の脳・心血管疾患、肝疾患による死亡率 ⇒全国ワースト3位

#### 2、久米島の子どもの健康〈学校健診結果から〉

- ①肥満傾向児の割合 : **20%** (全国平均 : 8%)
  - ②腹囲肥満 : **18%** (661名実施中名119名)
  - ③高血圧症 : **26%** (661名実施中名172名)
  - ④高脂血症 : **23%** (661名実施中名152名)
- <二次検診結果>糖尿病予備軍:**44%** (55名実施中24名)



#### 3、子どもたちの健康を守るために～私たちができる事～

- ◆大人の生活を変えることは子どもの健康を守ることに直結します！

- ①スナック菓子やチョコなどの高カロリーの物を子どもに与え過ぎない。
- ②夜21時には暗くして子どもが寝る環境を整える。
- ③なるべく徒歩で移動する。日中に外で遊ぶ時間を作る。

#### 4、「久米島子ども健康プロジェクト」について

- ◆平成24年度、病院と役場福祉課と学校、そして地域とで協力して、子どもたちの健康を守っていくためのプロジェクトを計画しています。
- ◆学校健診と併行して子ども達に生活習慣調査を行い、どのような生活習慣が健康に影響を及ぼしているかを調査し、年数回の授業で子ども達に具体的かつ継続的に健康指導を行っていこうというものです。
- ◆保護者の方を含め、地域の協力が必要ですのでよろしくお願いいたします。

## 私も外来に出ています

公立久米島病院院長 村田謙二

今年の4月は、当院の新たな歴史の始まりです。「公益社団法人・地域医療振興協会」が当院を運営する、いわゆる「公設民営」が始まります。院長は私が引き続き担います。他の医師も今年度残ってくれることになりました。

さて、医師確保問題にさく労力が、だいぶ軽減したので、昨年8月から私も外来で患者さんを診ています。私の担当は、主に内科の再診で、症状が比較的落ち着いている患者さん達の診療です。また、当院で治療できる病気の守備範囲を少しでも広げるために、新たな取り組みにも着手しました。それは、ペインクリニックと漢方治療です。私のそもそも専門分野は麻酔科です。麻酔は薬を使って痛みを取り除きます。その大部分の仕事は手術の時の痛みを取り除くことです。最も強力なのは、全身麻酔ですが、手術の部位や患者さんへの負担を考えると、下半身だけの麻酔や腕だけの麻酔法もあります。そのためには痛みを感じる神経の仕組みや薬の作用を熟知することが求められます。そこで、その知識や技術を応用して、ペインクリニックという治療分野があります。ペインとは英語で痛みと言う意味で、ペインクリニックは「痛みの専門外来」とも訳されます。

治療方法は神経ブロックと言って、神経の根本近くに局所麻酔薬を注射して、一時的に痛みを取る方法です。神経を永久的に麻痺させると別の問題が発生するので、鎮痛効果は一時的ですが、繰り返し何度も痛みを取ることで、痛みが次第に和らぐことが解っています。急激な強い痛みや普通の痛み止めの薬ではなかなか改善が得られない頑固な慢性的な痛みに効果が期待できます。注射をする、という少し思い切った治療法ですが、それでも楽になりたい症状のある方は一度ご相談下さい。

次回は漢方治療についてご説明します。

## 4月1日から公立久米島病院の運営は指定管理者が行います



平成24年4月1日から公立久米島病院は、指定管理者となった公益社団法人地域医療振興協会による運営となりました（病院の名称は変わらず「公立久米島病院」です。）。

←平成24年3月9日に久米島町平良朝幸町長と地域医療振興協会吉新通康理事長で指定管理協定書の調印を行いました。

### 【経緯】

これまで公立久米島病院は、主に沖縄県と久米島町から職員を派遣して運営していましたが、慢性的な医療従事者の不足とともに経営も厳しい状況が続いていました。そこで、民間の経営ノウハウを活用して医療従事者不足の解消や経営の改善を目指して指定管理者制度を導入することになり、昨年9月に公募を行い2次審査まで行った結果、全国で50カ所あまりの医療施設を運営している公益社団法人 地域医療振興協会を指定管理者として指定了しました。尚、指定管理者制度導入後も沖縄県と久米島町による財政支援はこれまでと同様に継続して行います。

### 【利用者の方へ】

公立久米島病院は4月1日から指定管理者制度導入により運営体制は変わりましたが、診療体制はこれまでどおり引き継いでいますので、これからも利用者のニーズに沿った診療を行っていきます。また、365日24時間の救急医療も継続することで地域の拠点医療機関として住民が安心して暮らせる環境をサポートしていきます。

# 平成24・25年度の後期高齢者医療の保険料率改定について

後期高齢者医療制度では、年々増加する被保険者と医療費の動向を踏まえて、2年ごとに保険料の見直しを行う制度となっており、被保険者である高齢者一人ひとりに、保険料のご負担をお願いしています。

平成24・25年度の保険料率(所得割率、均等割額)については、約16億円の剩余金見込額を取り崩し、据え置きとすることが決定されました。

また、保険料の賦課限度額については、高齢者の医療の確保に関する法律施行令及び沖縄県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の改正により、55万円に改められました。

高齢者の皆様には、ご負担をお願いしますが、安心して医療が受けられるよう、今後にわたって安定的に持続可能な財政運営とするため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

平成24・25年度沖縄県均一保険料率(平成20年度より据え置き)

所得割率	均等割額
8.80%	48,440円



沖縄県保険料賦課限度額

平成24年度(改正後)	平成23年度(改正前)	前年度比
55万円	50万円	+5万円

※上記の金額については、平成24年2月14日開催、「平成24年第1回沖縄県後期高齢者医療広域連合議会定例会」において決定されました。(沖縄県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正)

沖縄県被保険者数の動向

(単位:人)

年 度	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (見込)	H24年度 (見込)	H25年度 (見込)
被保険者数	109,090	113,104	117,106	121,112	125,051	129,073

※被保険者数について、平成20年度は、4月から翌年2月までの平均人数平成21年度以降は、3月から翌年2月までの平均人数

沖縄県被保険者一人当たり医療給付費の動向

(単位:円)

年 度	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (見込)	H24年度 (見込)	H25年度 (見込)
医療給付額	875,926	894,880	917,511	941,325	960,196	982,566

※高齢者の一人当たりの医療給付費が増加する見込みとなっています。

お問合せ先：〒904-1192 うるま市石川石崎1丁目1番

沖縄県後期高齢者医療広域連合

総務課 098-963-8011

管理課 098-963-8012

事業課 098-963-8013



# 町民カレンダー



4月1日～5月10日

1日	旧3月11日	21土	旧閏3月1日
2月	12日	22日	2日
3火	13日	23月	3日
4水	14日	24火	4日
5木	15日	25水	5日
6金	16日	26木	・ポリオ予防接種(役場仲里庁舎／14:00～15:00) 6日
7土	17日	27金	7日
8日	18日	28土	8日
9月	・始業式(各小中)	29日	昭和の日 9日
10火	・入学式(各小中)	30月	振替休日 10日
11水	・入園式 ・子ども健診(清水小・仲里小・仲里中・西中・久米島中)／各学校	5/1火	11日
12木	・日本脳炎予防接種(役場仲里庁舎／12:00～13:00) ・DPT予防接種(役場仲里庁舎／14:00～15:00)	2水	12日
13金	・子ども健診(比小・美小・大岳小・久小)／各学校	3木	憲法記念日 13日
14土		4金	みどりの日 14日
15日		5土	こどもの日 15日
16月		6日	16日
17火		7月	17日
18水		8火	18日
19木	・日本脳炎予防接種(役場仲里庁舎／12:00～13:00) 『食育の日』	9水	19日
20金		10木	・DPT予防接種(役場仲里庁舎／14:00～15:00) 20日

# 雪国の生活を体験！

## 第42回 なかさと交流

第42回なかさと交流会訪問団（榮野元康一団長（比屋定小学校長）、児童14名、引率者8名）が2月16日（木）から19日（日）までの日程で新潟県十日町市中里地区を訪問しました。久米島とは異なる気候風土や文化、生活習慣を直接体感することで視野を広げる事を目的に学校交流やスキーやホームステイなどを体験しました。特に今年は例年ない大雪で、3メートルを超える積雪により建物の1階が雪で見えなくなるほどの状況でしたが、子ども達は初めてみる雪に大きな歓声をあげ、雪合戦やソリを楽しんだり、真っ白な雪の上に寝転がったりと大はしゃぎしました。

今年多くの友達と出会い家族の皆さんとの温かい心に触れ、雪国での体験をおして友情を深め、7月の夏の交流会・久米島での再会を約束し、大きく成長した姿で帰島しました。

<p>嶋村 大輝 (久米島小)</p> <p>人生初のスキーは予想していたより難しかったよ。でも慣れたらバッチャリすべりました！</p>	<p>比知屋 夕真 (久米島小)</p> <p>スキーテクニックでは、こわくて大変でしたが、交流生と一緒に急斜面もチャレンジしました。</p>	<p>島袋 桃花 (比屋定)</p> <p>寒すぎてびっくりしました。初スキー、何回も転んだけど楽しかったです。</p>	<p>宮里 花 (比屋定)</p> <p>新潟の食べ物はおいしいお米を引き立たせるようなおかずがたくさんあっておいしかったです。</p>	<p>宮里 知志 (大岳小)</p> <p>雪まつりで見た雪像がすこかったです。スキーや雪遊びなど、雪の体験は、ぼくの一番の思い出になりました。</p>
<p>大田 爽夏 (大岳小)</p> <p>1番の思い出はスキーテクニックでした。7月に新潟の交流生が来たときは、楽しめることをたくさん考えたいです。</p>	<p>大城 凛太郎 (美崎小)</p> <p>雪合戦がとても楽しかったです。新潟の皆さんにとても感謝しています。</p>	<p>宇江城 あさひ (美崎小)</p> <p>スキーはとても楽しかったです。訪問先の家族と仲良く出来て嬉しかったです。今年一番の良い思い出が出来ました。</p>	<p>宗形 憲斗 (仲里小)</p> <p>雪を見たり雪で遊んだりして、とっても楽しかったです。</p>	<p>阿部 卓海 (仲里小)</p> <p>初めて雪の世界で遊んだのでいい体験になりました。</p>
<p>糸村 あいな (仲里小)</p> <p>初めてスキーテクニックが出来たのでとても良かったです。</p>	<p>田端 康生 (清水小)</p> <p>楽しかった雪遊び。一生の思い出です。</p>	<p>仲宗根 秀太 (清水小)</p> <p>また十日町市に参りたいでしゅ♪</p>	<p>國吉 真央 (清水小)</p> <p>雪遊びもスキーも楽しかったです。忘れられない思い出になりました。</p>	<p>めちゃくちゃ 楽しかったね～！</p>